

アダム 見聞録

声を掛ける、魔法を掛ける



Adam Simmonds 国際交流員

東日本大震災の後に全国で放映されていた「あいさつの魔法」というテレビ広告が記憶に残っている方もいるでしょう。あいさつの楽しさを子どもたちに伝える内容で、「こんにちワン」「おはよウナギ」など、さまざまなあいさつと名前を掛けた動物が「ポポポーン」と出て、今思えば面白いものでした。

確かに、あいさつには不思議な力があります。暗い住宅街を歩いているとき、前方から見知らぬ人が来ると、少し緊張します。あいさつをするべきか、それとも見て見ぬ振りをするか悩みます。勇気を出して「こんばんは」と声を掛けると、明るい声であいさつが返ってきて、ホッとします。相手もきっと安心していることでしょう。



その見知らぬ相手が外国人だったら、どうしますか。緊張感が増すという方もいるでしょう。相手が日本人だったら自然にあいさつができる人でも、相手が外国人だとなぜか目をそらしてしまう人もいます。その人は、同じ地域の住民かもしれません。あいさつを交わすことで、知らない者同士ではなくなり、住民同士の認識が生まれます。国籍問わず、周りの人たちと声を掛け合うことは、お互いのより安心な暮らしにもつながります。

言葉や文化の違いを心配するより、「こんにちは」などと日本語で声を掛けてみてはどうでしょうか。どちらかが声を掛けないと、知らない者同士の壁は崩れることはありません。声を掛けることは、魔法を掛けることです。

Library Update

アローブ図書館

7月の休館日 18(火)

☎(48)1808

開館時間：9:00~20:00



今の一冊

『暇と退屈の倫理学』

國分功一郎/著 朝日出版社



暇と退屈の違いとは？人は退屈し始めると何をするのか。古くから多くの学者により語られてきた「退屈」について、さまざまな面から読み解きます。難しい内容もありますが、専門知識がなくても読めますので、哲学の入門書として、ぜひ挑戦してみてください。

図書館Pick Up

図書館子どもまつり

おはなし会・クイズ・工作・人形劇・手芸教室・展示などを行います。今年の夏は、たくさんの鳥に囲まれながら、家族や友達と一緒にお祭りを楽しんでください。

▶日時 7/25(火)・26(水) 10:00~15:00

5月予約ランキング

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. くもをさがす | 西加奈子/河出書房新社 |
| 2. 魔女と過ごした七日間 | 東野圭吾/KADOKAWA |
| 3. 裁判官の爆笑お言葉集 | 長嶺超輝/幻冬舎 |
| 4. 街とその不確かな壁 | 村上春樹/新潮社 |
| 5. 汝、星のごとく | 凧良ゆう/講談社 |

図書館イベント

読み聞かせ

7/4(火)・19(水)	11:00~
(低学年向け)7/2(日)・8(土)	14:00~
毎週(土)(7/8を除く)	14:00~
ストーリー・テリング(5歳以上) 7/8(土)	10:30~
わらべ歌 7/13(木)	11:00~
紙芝居 7/22(土)	11:00~

おおぶきっちゃん

子ども向き 担々麺

▶▶ 材料(4人分)

ショウガ	4ㇿ	豚ひき肉	100ㇿ
キャベツ	80ㇿ	わかめ	4ㇿ
ニンジン	40ㇿ	中華スープの素	4ㇿ
サラダ油	小さじ2	しょうゆ	大さじ1と1/3
水	適量	酢	小さじ1弱
赤みそ	大さじ2強	中華麺	440ㇿ
砂糖	大さじ1強	白ゴマ	4ㇿ
酒	大さじ1強		

▶▶ 作り方

- ① ショウガをみじん切り、キャベツ・ニンジンを千切りにする。
- ② 鍋にサラダ油を熱してショウガを炒め、香りが出たら、豚ひき肉を加え炒める。ひたひたの水を加え、あくを取りながら加熱する。
- ③ ②にAを加え、肉みそを作る。肉みそが硬い場合は、水を少しずつ加え、硬さを調整する。
- ④ わかめを戻し、食べやすい大きさに切る。
- ⑤ 鍋に水(150~170ㇿ/人)とBを合わせて加熱し、スープを作る。
- ⑥ ⑤にキャベツ・ニンジン・わかめを加え、煮込む。
- ⑦ 中華麺をゆでる。
- ⑧ 器に⑦を入れ、⑥のスープを注ぎ、③と白ゴマを盛り付ける。



子どもたちが食べやすいよう、野菜を柔らかく煮込み、肉みそは赤みそを使って、子ども向きにしています。

※6/7に市立保育園で提供したメニューです。

人権って。なんだろう Vol.3

全ての人が持ち、最大限尊重されなければならない権利「人権」

考えてみませんか？ インターネットと人権

福祉総合相談室 ☎(45)6219



使い方を間違えると大変なことに！

インターネットは、不特定多数の人に情報を大量に発信でき、私たちの生活を豊かにする便利な道具である反面、使い方を間違えると、人の心を傷つける「凶器」にもなります。最近では、SNSや無料通信アプリによるトラブルが発生しており、深刻な事件につながることもあります。

自分を守る

- ・知らない相手からのメールは開かない、返信しない
- ・安易に自分の写真や個人情報を載せない
- ・ネットで知り合った人には、安易に会わない
- ・ID・パスワードなどを他人に教えない



匿名の書き込みも、調査をすれば発信者を特定することができ、罪に問われることもあります。正しい知識を身に付け、「被害者」にも「加害者」にもならないようにしましょう。顔が見えないからこそ、相手の人権を尊重することを忘れず、配慮してインターネットを利用しましょう。

相手を傷つけない

- ・他人の悪口を書き込まない
- ・根拠のないうわさ話を載せない
- ・人が写っている写真・動画を勝手に載せない
- ・暴力的な言葉を使わない



web相談窓口
フォーム



次回のテーマは、「部落差別」です。